

介護老人福祉施設 琴 清 苑

琴 清 苑 だ よ り

社会福祉法人 双葉会 (第7号)

〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川1099 TEL0428-83-3932

URL <http://www.futabakai.or.jp> e-mail kinseien@futabakai.or.jp



3月3日 ひな祭り
左から、古川聖美子さん(69才)・原島キミさん(77才)・三木まささん(89才)・中村一巳さん(77才)

新世紀の春を迎えよう

「あいさつ」

社会福祉法人 双葉会
特別養護老人ホーム
琴清苑施設長 世懸典博

「福祉の心」

「私の心をおこすということとは、自分のことをさしおいて、ひとえに他のために尽くすことである。自分がたとえどんな立場にあるもの、決して、おさぼらず惜しまず人の邪魔をせず、いつも思いやりにあちた言葉をかけ、すべての利益になるよう行ない、他と融けあつてゆくということ、心から願ひ、果し続けてゆくことが大切である。他の利益は自分の利益であり、他の喜びが自分の喜びであるという道理を、よく見きわめ味わつて、おろそかにしてはいけない。これは曹洞宗の証言「発願利生」の意の要約ですが、常に社会福祉に携わる者は、いつもこのことを念頭においていなければならぬ内容であると思っております。

文章の冒頭の「私の心」を「福祉の心」と置き換えれば、今福祉の現状に真に求められているものが如実にあらわされています。私たち琴清苑も、琴清苑もこのことを基本として皆揃へサービスの提供に努めていきます。

さて、最後に琴清苑の宣伝をさせていただきますが、当施設は開設後34年が経過し、施設の建物も非常に老朽化したために平成10年より全面増改築をいたしました。この3月末に完成し160名の施設から190名の施設へと移り変わりますので琴清苑のご家族の方々もどうぞ気軽に御参りください。

平成十三年度事業計画

一、経営方針

今年度は、昨年導入された「介護保険制度」での安定した経営を目標に組織、業務内容、提供サービス内容等の再点検、再整備が急務である。

介護保険制度については、「措置制度」から「保険制度」、「運営（収支管理）」から「経営（損益管理）」への改革であり、準備期間もなかったことから昨年4月以降様変わり著しい実務に追われ、本来初年度において行うべき体制整備が不十分であり、昨年度より継続して、関係役員の意識改革、パート職員の効率的利用、コスト意識の徹底等を推進していく。また、介護保険下では利用者に選ばれる施設でなくては経営は成り立たず、サービス評価・苦情処理システム・情報開示には積極的取り組み、社会に認められるサービスの提供を目標に処遇の向上に努めたい。

二、処遇方針

1. 介護部門

- ① サービスマナーの向上の徹底
- ② 入所者の重介護化に伴うハード面、ソフト面での受け入れ態勢の強化
- ③ 日常生活動作の援助

2. 医療部門

- ① 健康管理の徹底と疾病の早期発見
- ② 薬品管理強化と看護日誌の充実
- ③ 心のこもった医療の実践

3. 給食部門

- ① 給食管理の強化
- ② 衛生的な職場環境作り

4. 事務管理部門

介護保険移行に伴い、コンピュータを活用し介護請求事務、利用者預かり金管理等、効率的な事務管理に努める

5. 防災管理部門

施設の特徴を考慮し、夜間防火体制の強化、予防の徹底を重点的に推進し、利用者、職員が安心して生活、勤務出来る体制作りを進める

2. 地域福祉サービス事業

- ① 琴清苑居宅介護支援事業
- ② 短期入所生活介護事業

ホームバー

介護職員 小峰スミ子

12月12日ホームバーが行なわれました。苑での行事の中でも、利用者が楽しみにしている一つです。午後から職員が、手作り餃子・肉豆腐・甘酒・等々を準備しました。夕食が済み一休みした後、いつもの介護職の制服とは違い、スーツ・ドレス・和服姿に身をまとい、ホスト・ホステス、に変身し利用者と一緒にテーブルを囲みました。ちょっとびりアルコルが入りました。類を染め、目を輝かせながら桃色くときめいた頃の話しを語りながら、ほろ酔い気分を語りながら、歌を歌っている人、色気より食気、と言わんばかりに、普段あまり食事で食べられない、ラーメンを食夢中ですすっている人、ラーメンを美味しくひと時を過ごし、興奮と余韻の残るなか床を過ぎ、興奮と余で、一日の疲れが吹き飛んだ気分を分



美味しそうにうどんを食べる、成田ヒデさんと今夜はホスト役の酒井介護職員

12月24日クリスマスイブ キャンドルサービス

介護職員 酒井純弘

初めての参加でシスター役をさせて頂きました。利用者の皆さんは自分も思っていたよりも感動してくださった様で参加してよかったですと思いました。



シスターとミサ仕え 上段左から、和久・酒井・田中・森介護職員 下段左から、島崎・小峰・原島介護職員



ミサ仕えさんに囲まれてご機嫌な山崎幸さん

年末恒例の年忘れ大会

12月25日(月)
職員手作りの年忘れ大会が行われ、職員の手作りや、氷川小学校の子供達との踊りや、職員との演奏など、利用者の方と一緒に楽しんだ、ひとりでした。



唄と踊りを披露する氷川小学校五年生の皆さん



演芸を見て拍手する竹内トラさんと和久介護職員



演芸を楽しまれる石塚さんご夫婦

平成十三年 カルタ大会

介護職員 後藤和子

1月の初めの... 1月3日カルタ大会を行いました。29名の利用者の皆さんが紅白に分かれ取った枚数を競い合いました。職員は読み手1名、その他の者はサポートをする形で開始しました。しかし始めると全員で夢中になり手に汗握る熱戦となりました。一番困った顔をしていたのは、近藤判定員、紅白が早い。」「エ...」とブーイング、結果は、古屋照子さんが活躍した白組が優勝で幕を閉じました。楽しい新年の始まりでした。

蘭玉作り

1月13日(土)
小丹波の小山康治さんから栢の木を頂き、赤や白の蘭玉と金相を、利用者の方々と飾りました。



蘭玉を飾っている様子
左から近藤辰男さん・藤田セキさん

獅子舞訪問

1月1日(月)
今年も、地元小留浦地域の沢忠雄さんと小峰第二さんが獅子を舞いに、来苑して下さいました。



獅子の舞に驚く
橋本正男さん



節分

介護職員 小泉ナカヨ

2月3日、例年通り男性職員が赤鬼・青鬼の衣装を着て、各居室を回りました。鬼に向けて豆まきをさげ、利用者の中には鬼の棒を取り上げて、鬼を追いかける方や、鬼より赤い顔をして本気で鬼退治とぶつける方と、賑やかな鬼退治となりました。面会に来られていた家族の方もこのひと時を楽しんで過ごされました。



鬼にびっくりして逃げようとする山田富夫さん



みんな仲良く記念撮影・・・はいポーズ

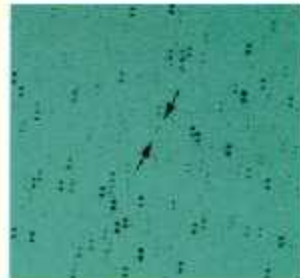
ドクター中野の星のおはなし

奥多摩の名を持つ星

夜空を仰ぐといろんな星がみられるが、特に木星と火星の間には岩の小片といってもよいくらい小さな天体があり、やはり太陽のまわりをまわっているのが小惑星と名づけられる。微小というか、肉眼で見られるような明るいものはまずない。1801年、初めてイタリアで発見され、ここ200年の間に天文機器の進歩とプロ・アマ天文家の協力で発見総数は2万個に近い。小惑星が発見されるとすぐアメリカの天文台に報告され登録番号と名が与えられる。

日本での目録で探してみよう。
登録番号5142=YD 命名**奥多摩** 1990年11月13日
観測者、早川・日置両氏により命名とある。他に数値も出ているが、発見場所の特定が出来ない。

私の小惑星は6707=YZ3命名**SHIGERU**となっている。
発見は北海道、1998年11月13日であった。これも微かです。太陽を一周するのに3.46年かかる。今、空のどこにいるかは計算すればすぐに判るから、皆さんと一緒にこれらの小惑星に分乗して楽しい宇宙旅行は・



上記写真：小惑星SHIGERU

夢の中の夢。

中野 繁

《琴清苑勤務医師》



略歴

昭和18年慈恵医大卒業
軍務後、東大法医学教室
助手を経て医学博士
授与（東大）
某医大助教授を経て臨
床に転ずる。

著作

標準星図（2000）、双眼鏡観望星図 等多数

受賞

日本天文学会神田賞
河出書房 星の手帖社「ゼロ賞」
東亜天文学会学術賞他

今回から中野ドクターによる星のおはなし
シリーズの連載を予定しています。
お楽しみに。



12月～2月ボランティア状況

(敬称略)

- 食事介助・・・トミヨ会
- シーツ交換・・・杉山 初、酒井 久、奥平 恭子
馬場 静子、たんぼぼの会
- 囲碁・将棋・・・堀口 初夫、奥平 進、川久保勝男
原島 敏夫
- 指圧奉仕・・・奥多摩奉仕会
- 演芸・・・永川小5年生



4月からの行事予定

今年の家族会は5月の第二日曜日の13日を予定しております。詳しくは案内状にてお知らせします。また今年度も引き続き毎週日曜日はホーム喫茶を行ないます。ご面会の折にはぜひご利用ください。

4月6日	お花見
4月8日	花祭り (お釈迦様の誕生をお祝いします)
4月11日	昼食会 (バイキング)
4月15日	誕生会
4月20日	ホームバー

編集後記

広報委員 外間八重子

介護保険導入後一年が経過しました。琴清苑だよりも第7号を発行する事となりました。ここまでの大勢の皆様が、快く引き受けてくださったお陰と感謝しております。また編集に携わる職員の結晶のあらわれとも思います。琴清苑だよりもが任上があった時の感動を忘れず、新世紀も利用者の近況などを琴清苑だよりもを通じてお知らせしたいと思います。

職員紹介

介護職員 原島セツ子



今年から1年、気が付いてまいりました。利用者様へのサービスに力を入れています。これからも、利用者様の笑顔のために頑張ります。